

# 茗 球

2022年4月28日

茗球会（東京教育大学附属高等学校  
筑波大学附属高等学校  
排球部 OB/OG 会）

新緑の候、世界で緊迫した情勢が続く中、コロナ禍が始まって3度目の新年度を迎え、すぐにはコロナの終息は見通せないながら、ようやく経済・社会生活を戻してゆく動きとなってきておりますが、皆さまには如何お過ごしでしょうか。

悠仁さまのご入学で注目を集めている附属高校ですが、今春の卒業式、入学式は保護者を入れて例年通りの開催となり、授業も新年度から1コマ50分に戻って学園生活も通常に戻りつつあるようです。我が排球部も、昨年度は院戦が無観客開催、代が替わって夏合宿は2年続けての中止、公式大会の中止も多く制約が続きましたが、この春休みには、顧問の先生方のご尽力で2泊3日の春合宿を実施でき、部練も一日2時間週4日に戻り、マスク着用ながら声も出して通常に近い練習ができるようになっていきます。部員も2、3年生は男子22名（マネージャー含め）、女子20名と例年以上に選手層厚く、1年生の入部も順調に始まっています。また、新たな取り組みとして、昨年末より「東京バレーボールアカデミー」から専門指導者を招聘し週1回指導を受け、専門的スキルの習得に取り組んでいます。ようやく開催が決まった春の公式戦、そして昨年度9年ぶりに男女揃って勝利を飾った院戦での勝利を目指して練習に励んでおり、院戦は今年度も残念ながら無観客開催になり会場での応援は叶いませんが、リモートで応援を頂ければと思います。

茗球会活動も、今年度は2年続けて中止となった夏の合宿、秋の懇親会をご案内できることを期待して計画を策定しております。その中で、予算策定において、ここ数年皆さまから納入頂く会費総額が減少を続けており、危機感を抱いております。毎年会費納入頂いている皆さまには心から御礼申し上げますとともに、今後少なくとも従来レベルの現役支援、茗球会活動を継続する為、何卒皆さまからの会費納入をお願い申し上げます。

まずは一刻も早く世界が平和を取り戻すよう、そして多少の制約はあっても、現役にとって充実した部活動が戻り、茗球会でも皆さまとの再会の場をご案内できるよう、心より祈念しております。 <会長 79回 海老塚 清>

## 1. 顧問の先生方のご紹介

2022年1月、勝田仁之先生（物理科）が育児休暇から復帰されました。また、熊田亘先生（社会科）と矢田理世先生（英語科）には引き続きお世話になります。 <128回 鈴木 日有桜>

## 2. 2022年度の学習院戦について

2022年度の院戦は、6月4日（土）に開催されます。会場は、部活によって分散しますが、排球部の試合は学習院の女子部にて開催されます。開催形態については、新型コロナウイルスの現状に鑑み、選手とベンチのみが会場に入り、無観客で実施されることになりました。本年度も直接声援を送れず寂しい思いもありますが、開催できることを喜び、ぜひ皆様も一緒に心の中で応援していただければと思います。 <128回 鈴木 日有桜>

## 3. 男子排球部の活動報告

OBOGの皆様、日頃より応援やご支援頂きありがとうございます。現在、男子排球部は131回生がプレーヤー5人とマネージャー2人、132回生がプレーヤー12人とマネージャー3人の計22人で活動を行っています。

練習面に関しまして、昨年度より外部コーチをお招きして週に1度指導を受けることになりました。OBOGも練習に参加することがあまり叶わない中、1回1回の練習の質を高めてくれればと思っています。

また、男女共に4月4日～6日にかけて千葉県のアルビンスポーツパークにて合宿を行いました。平時と比べますと日数は半分となってしまいましたが、中々練習時間の取れない現在の状況で1日を通してバレーをすることが出来

たことはプレーヤーにとって貴重な経験になったと思います。少し前からですが、練習の間にマスクをつけている場合に限って声を出すことが可能となり、今まで出来なかった声出しなどのコミュニケーションが取れるようになりました。雰囲気も明るくなり、楽しくプレイできる環境が少しずつではありますが戻ってきたのではないのでしょうか。次の代ではより長い日程で合宿できることを期待しています。

1月の大会は残念ながら中止となってしまいました。いずれの大会でもその時その時のベストを尽くして戦っていたと感じました。合宿を通して成長したところを次の大会、果ては院戦で見せてくれることを期待しています。制約条件はあれど、段々といつも通りの練習ができるようになってきました。一刻も早く新型コロナウイルスが収束し、楽しくプレイできることを願うばかりです。今後ともよろしく願い致します。

<男子排球部コーチ 128回 安田 祥起>

#### 4. 女子排球部の活動報告

日頃より、OBOGの皆様には暖かいご支援をいただき、ありがとうございます。今年も新型コロナウイルスの影響を受け、コロナ禍の以前のような練習ができない日々が続きました。制限の多い中でしたが、130回生は院戦の勝利を節目として引退を迎えることが出来ました。現在は131回生11名、132回生9名の計20名で活動しております。

昨年度も合宿開催は叶わず、練習時間もあまり長くは取れず夏季大会も中止になってしまいました。バレーボールを思う存分練習するには厳しい環境でしたが、新人大会は無事開催され二日目まで勝ち進みました。詳しい戦績については茗球会HPをご参照ください。

チームとしては、130回生の部員が1名だったこともあり昨年度に引き続きスターティングメンバーとしてプレイしている部員も多く、とても団結力の強いチームになっています。部員が多く練習の仕方等には悩ましい部分もありましたが、主将を中心に練習メニューを考えて活動しております。これほどまでの選手層の厚さは例年の女子排球部と比べても珍しく、更なる成長が楽しみなチームです。また、最近では外部コーチもお招きし練習メニューを組み立てていただき、週に1回指導を頂いています。いつも新しいことにチャレンジし、支え合いながら自分たちで強くなるためにはどうしたら良いかを考えられる頼もしい彼女たちのプレイには目を見張るものがあります。

現時点では、院戦を含む引退までの大会の開催が予定されています。チームとして仕上げの時期に入ってきているかと思しますので、最後に実力を出し切れるよう練習に励んで参ります。今後とも応援をどうぞよろしくお願い致します。

<女子排球部コーチ 129回 小野寺 絢美>

#### 5. 夏合宿と秋の懇親会のご報告

2021年度も新型コロナウイルス感染拡大の状況判断より、例年行われています夏合宿、及び秋の懇親会は2年連続中止になりました。現役OBOGの貴重な触れ合いの機会でありましたので、大変残念ですが、2022年度は開催できることを期待しております。

<128回 鈴木 日有桜>

#### 6. 2022年度の新規会員のご紹介

<130回男子排球部>

赤瀬川 颯(あかせがわ はやて)

センターでした。入部当時は大変なことばかりでしたが、新しい仲間とチームスポーツの楽しさに気付くことができ、とても充実した三年間になりました。ありがとうございました。

秋吉 一寿(あきよし かずひさ)

リベロでした。前途多難な事ばかりでしたが、仲間に恵まれて、続けることの大切さ、またその大変さを知ることのできた3年間でした。とても有意義な時間を作って頂きありがとうございました。

梅田 将希(うめだ まさき)

レフトでした。OBOGさんのおかげで技術面、精神面共に成長することができ、よりバレーを楽しめました。ありがとうございました。後輩が同じように過ごせる場を維持できるよう頑張ります。

高山 宙(たかやま ひろし)

セッターでした。コロナ禍で活動が制限される中、OBOGさん方の支えもあり、最大限バレーを楽しむことができました。今後は支える側の一員として、よろしく願い致します。

館澤 悠太(たてさわ ゆうた)

ライトでした。バレーというチームスポーツを通して仲間と助け合い、ときにぶつかりながら 3 年間で大切な思い出や経験をたくさん作ることができました。本当にありがとうございました。

二宮 知紀(にのみや ともき)

ライトでした。途中怪我やコロナのせいで部活ができない日もありましたが、3 年間楽しくバレーをすることが出来ました。ありがとうございました。

前中 純太郎(まえなか じゅんたろう)

センターでした。2 年からはコロナ期間になり練習がいろいろ変わって大変になりましたが、温かい OBOG さんのおかげで助かりました

松本 直人(まつもと なおと)

レフトでした。コロナ禍で大変なこともありましたが、チームメイトと助け合い、OBOG の方々に支えられ、3 年間バレーボールを楽しむことができました。ありがとうございました。

三浦 紗季(みうら さき)

マネージャーでした。一生懸命バレーボールを追いかける選手の姿がとても好きでした。ありがとうございました。

山田 彩生(やまだ あき)

マネージャーでした。皆が上達していく過程や、活躍している姿を見るのがとても楽しみでした。ありがとうございました。

#### <130 回女子排球部>

篠原 かれん(しのはら かれん)

センターでした。OBOG の方々が支えてくださったのおかげで楽しく部活動をすることができました。これからは自分が後輩をサポートする立場として活動していきます。ありがとうございました。

## 7. 2021 年度決算報告と 2022 年度予算

2021 年度決算、及び、2022 年度予算の詳細は茗球会 HP に記載の通りです。

2021 年度の年会費収入は、398 千円(前年比△44 千円、計画比△102 千円)という低水準に留まりました。会員への連絡方法を原則郵便から E メールに切替え、振込用紙の同封を止めたこと、秋の懇親会が 2 年連続で中止となり年会費を徴収する機会が減ったこと、等が主因と考えられます。一方支出は、昨年度もコロナの影響で多くの支出項目(夏合宿関連支援は 0 円、計画比△325 千円等々)が結果としてゼロとなりました。通信連絡費(12 千円)は前年比△53 千円に抑制し、逆に現役への備品購入援助は予算比増額してボール、ボールカバー、アンテナ(合計 79 千円)を贈呈するなどした結果、次年度繰越金(983 千円)は計画比+398 千円の増加となりました。収支規模は 1,151 千円でした。

2022 年度は、本来であれば増加した繰越金の有効活用を検討すべきですが、繰越金増加の主因が夏合宿の中止であること、今年度こそは夏合宿が開催されて欲しいと思うこと、会費収入の逡減が続いていること、から主な支出項目はほぼ従来通りの計画とせざるを得ません。尚、既に行われた春合宿のコーチ宿泊代、交通費等については、全額支援(約 50 千円)と致しました。会費収入は昨年度を上回る 500 千円(前年比+102 千円)を計画しますが、それでも次年度繰越金は大きく減額となります。

## 8. 会費納入のお願い

<年会費> 社会人 3,000 円、学生 1,000 円、浪人生 0 円

(69 回までの卒業の方々＝80 歳以上になられるの方々、は無料です。)

これまでの皆さま方のご支援に対して心から感謝申し上げますと共に、今年度も会費の納入をよろしくお願い申し上げます。ご連絡を原則 E メールに切り替えたことで、振込用紙のお届けを停止してご不便をお掛けしています。会費収入は 2017 年度の 826 千円をピークにほぼ毎年減少を続けております。このままでは、夏合宿が実施された場合の支援の継続すら大変厳しい状況となりかねません。昨年度を上回る会費収入となるよう、社会人の皆さんも学生の皆さんも、何卒、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

①振込方式（振込手数料は各自ご負担願います）

<振込口座>

・みずほ銀行 渋谷中央支店 普通 1121967 口座名義:茗球会

・ゆうちょ銀行(旧郵便局) ⇒ 振込用紙は同封していません。銀行窓口の用紙をご利用下さい。

(a)ゆうちょ銀行から振込む場合 00140-4-543851 口座名義:茗球会

(b)他金融機関からゆうちょ銀行へ振込む場合

〇一九(ゼロイチキュウ)店 当座預金 0543851 口座名義:茗球会

<振込人名>

お手数ですが、氏名の前に卒業回数をお付け下さい。(例:87カイ オチアイ サトル)

②口座振替方式 振替手数料は無料です

一度口座振替の手続きをすれば、金融機関に足を運んだり、インターネットで振込んだりする手間も無く、振込手数料負担も無く、毎年、年会費を収納させていただきます。特に忙しい社会人の皆さんは是非ともご検討下さい。

・学生の方々は振込方式にて、毎年 1,000 円をお振込み下さい。

・今後、80 歳に到達される年度以降の振替は停止致しますのでご安心下さい。

<金額> 3,000 円=社会人の年会費

<振替実施日> 原則 7 月 26 日

<申込み方法>

新たにお申込みの方は、下記連絡先までご一報下さい。直ぐに「口座振替依頼書」を郵送致します。必要事項をご記入の上、5月31日(火)までに、ご返送下さい。

既に口座振替依頼書をご提出の皆さまは、アクション不要です。

## 9. その他

本文でも触れました通り、定期的なご案内を原則 E メールに切り替えたり、ご案内内容の簡素化、効率化を図ったりしております。予算・決算の状況、会則、現役の戦績等の活動状況、写真、等は茗球会 HP に掲載しておりますので、そちらも併せてご覧頂けると幸いです。

今年度も、70 周年の記念誌と名簿を販売しています。購入希望の方は、下記連絡先まで、希望内容をご一報頂いた上で、年会費とは別に、茗球会口座まで金額をお振込み下さい。(名簿:1 冊 500 円、記念誌:1 冊 1,800 円)

登録情報に追加・変更等あれば、下記までご一報下さい。

連絡先: 87 回 落合 悟 住所: 〒146-0085 東京都大田区久が原 3-38-9

電話番号 & FAX: 03-6410-2422 メールアドレス: ochiai555@ybb.ne.jp

茗球会 HP: <https://meikyukai.org/> または、茗球会 で検索を!

<7. ~9. 87 回 落合 悟>